

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都駅八条口前ホテル計画(東敷地)	階数	地上9F
建設地	京都市下南区東九条上殿田町42番地	構造	S造
用途地域	地域, 防火地域	平均居住人員	950 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年10月23日
敷地面積	3,151 m ²	作成者	山田 昌宏
建築面積	2,363 m ²	確認日	2017年10月23日
延床面積	17,348 m ²	確認者	尾田 岳志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.3

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 京都駅八条口前にホテルを新築する計画である。敷地周囲に緑化を計画、中庭には盆栽什器や苔を用い京都らしさを取り入れている。美しい景観形成に配慮すると共に生物環境の保全に取り組んでいる。また、高効率の設備機器の採用によりさらにエネルギー消費量を削減した計画としている。		その他 特になし。
Q1 室内環境 化学汚染物質について内装材には全般的に規制対象外、告示対象外の建材を採用している。また開口部を多く用いることで昼光率の向上に貢献している。	Q2 サービス性能 更新間隔の長い内外装材、ダクト、配管などを採用し建物耐用性の向上に配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地南側に西敷地から連続させた歩道・植栽を計画し、周辺の街並みに対しての配慮を行っている。
LR1 エネルギー Low-eガラスを使用した複層ガラスを採用し、熱負荷低減と客室内の騒音低減に配慮した。LED等高効率設備を採用しエネルギー消費量の削減を図った。	LR2 資源・マテリアル ユニット部材OAフロアを採用することで、部材再利用性の向上に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の削減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される